※令和３年度以前入学生用

学校番号	3006

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	『　新日本史Ａ　新訂版　』　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業ごとにプリントを使用したり、ノートに記述するなどして学習していく。
・教科書と併せて、図版や地図を授業内で提示し、生徒が歴史を視覚的に学習できるようにする。
・教科書に載っている内容を説明するだけではなく、『なぜその事象がその時代に起きたのか』を他の生徒と話し合いをしながら考える機会を持つ。

２　学習の到達目標

１．日本前近代の歴史をふまえ，近現代史 を事実に基づき把握し，歴史の構造とその変化を理解する。
２．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び，歴史的思考力を養う。
３．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し，国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究し，国際社会に主体的に生き国家･社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし，国際環境と関連付けて多面的･多角的に考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を，国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント	授業プリント 定期考査	授業プリント 定期考査 レポート	授業プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代国家と社会の形成	・グローバル化の時代 ・国境、民族、宗教の壁を越えて ・開国までのあゆみ	○	○	○	○	a:古代～近世に至る日本の歴史を大まかに捉え、どのようにして日本の近現代史が始まっていくのかについて考えようとしている。 b:開国までのあゆみを世界の歴史と関連付けながら考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:歴史的過程を経て形成されてきた世界の国境・民族・宗教・などに関する情報を収集し、現代世界とのつながりを理解する上で適切に活用する技術を身につけている。 d:グローバル化の時代の特質とその構造について把握し、基礎的な知識が身についている。	授業プリント
	近代日本の形成	・国際情勢の変化と明治維新 ・明治新政府の諸改革 ・立憲国家の成立	○ ○	○ ○	○	○	a: ：近代日本の形成過程を国際情勢の変化やそれに伴う国内改革に求め、それらについて、関心を高め、なぜそのような事象が起こったのかを意欲的に追求しようとしている。 b: 明治維新から立憲国家成立への動向を考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c: 明治新政府の諸改革についての資料を適切に収集し、過程や結果を研究し、適切にまとめることが出来ている。 d: 明治における国際情勢や国内改革について、十分に理解し、基本的な知識を身につけている。	授業プリント 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	二つの戦争と大日本帝国	・日清戦争と近代社会の確立 ・日露戦争と帝国日本の形成	○	○	○	○	a:日清戦争と近代社会の確立について、その過程と結果の歴史的意義について関心を高め、なぜそのような事象が起こったのかを意欲的に追求しようとしている。 b:日本の対外進出の契機である日清戦争の影響について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:日露戦争についての資料を適切に収集し、過程や結果を研究し、適切にまとめることができている。 d: 日清・日露戦争の過程や結果に対する基礎的な知識、当時の国際情勢などを十分に理解している。	授業プリント 定期考査
2学期	アジアの戦争と第二次世界大戦	・第一次世界大戦と帝国日本 ・政党政治の時代 ・軍国日本への道 ・太平洋戦争	○	○ ○	○ ○	○ ○	a:軍国主義の台頭および軍国化への道について、その過程と結果の歴史的意義について関心を高め、なぜそのような事象が起こったのかを意欲的に追求しようとしている。 b:第一次世界大戦と日本との関連性について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:我が国の政党政治の確立とその歴史的意義について資料を適切に収集し、過程や結果を研究し、適切にまとめることができている。 d: 太平洋戦争という地理的にも大規模に戦われた事象について、戦場となった各地域の情勢や日本との関わりに対して基礎的な知識、当時の国際情勢との関連において十分に理解している。	授業プリント 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	冷戦の中の経済成長	・現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・高度経済成長の時代	○	○	 ○	 ○	a:戦後の冷戦構造およびその中での日本の戦後復興、改革について、特にＧＨＱによる日本統治の歴史的意義をとおして関心を高め、戦後日本のあゆみを意欲的に追求しようとしている。 b:現代世界が東西冷戦構造を中心にどのような歴史的過程を経てきたかについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:高度経済成長の時代とその歴史的意義について資料を適切に収集し、過程や結果を研究し、適切にまとめることができている。 d: 高度経済成長の時代が到来した過程を国内外の動きに着目し、その密接な関連性や様々な事象に対して基礎的な知識を整理し、十分に理解している。	授業プリント 定期考査
３学期	現代の日本	・国際秩序のゆらぎと経済大国日本 ・冷戦の終焉と日本	○ ○	 ○	○ 	 ○	a:米ソ冷戦構造という国際秩序のゆらぎが世界へどのような波紋を広げたのか、またそのような秩序の転換期をとおして日本はどのように変化していったかについて関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:冷戦の終焉が国際社会に与えた影響について考察し、日本での様々な事象の変化と関連づけながら判断した過程や結果を適切に表現している。 c:当時の国際的な政治、経済の動向および日本への影響について資料を適切に収集し、過程や結果を研究し、適切にまとめることができている。 d: 冷戦終結後の世界の政治、経済の動向、これからの国際社会における日本の役割、日本が	授業プリント 定期考査

※令和３年度以前入学生用

							世界の諸国･諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し、その知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。